

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年11月10日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0892500075		
法人名	(株) ライフケアサービス		
事業所名	グループホーム 喜楽	ユニット名	
所在地	〒311-4615 茨城県常陸大宮市下伊勢畑948-8		
自己評価作成日	平成27年3月25日	評価結果 市町村受理日	平成27年11月25日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kihon=true&JigyosyoCd=0892500075-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成27年4月23日	評価機関 決 済 日	平成27年11月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

施設は四季折々が楽しめる自然豊かな山間の静かな所にございます。入所者との触れ合う時間を沢山作り日々明るく過ごしております。ホールでもお部屋でも笑い声の聞こえる元気な職員また入所者です。当施設では理想である御家族の面会も多く、職員との交流・連携が取れております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所是那珂川近くの山間部にあり、天気の良い日には、事業所周辺を散歩して利用者の五感を刺激したり、四季の移り変わりを肌で感じられる自然豊かなところに立地している。
1ユニットの少人数の事業所で「笑顔と信頼感を大事に」という理念のもと、家庭的で心穏やかに暮らせる環境となっている。
利用者と職員が地域のお祭りや運動会に参加するほか、自治会に加入して回覧板を利用者と一緒に回したり、クリーン作戦には職員が積極的に参加するなど、利用者が地域とつながりながら生活できるよう支援している。
全職員が良好なチームワークで、日々利用者とのコミュニケーションを大切にしながらケアに努めている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全員が把握できるよう理念を壁にはりだしている。	理念は全職員で「寝たきりにならないように」との思いを込めて作成している。 理念を居間兼食堂に掲示し、全職員は日々の業務の中で理念について話し合い、共有して実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入っており、お祭りクリーン作戦等参加している。	自治会に加入して利用者と職員で回覧板を回し、挨拶を交わしたり、その際に草花のお裾分けをいただくなど、利用者が地域と交流できるよう支援をしている。 地域住民が立ち寄った際にはお茶でもてなし、野菜等のお裾分けをいただくほか、利用者と職員で近隣を散策して挨拶を交わすなど、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	取り組みはしていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	月行事を話しており、合同参加できることはしていきましようとして協力合っています。	運営推進会議を年6回開催することは理解しているが、参加委員の選定ができず、1回のみで開催となっている。 参加者は市職員と事業所職員の参加にとどまっている。	運営推進会議は、外部の人々の目を通して事業所の取り組み内容や具体的な改善課題を話し合ったり、地域の理解と支援を得るための貴重な機会なので、引き続き利用者や家族等の代表、地域住民の代表などの参加を得て、双方向的な会議を最低年6回開催できることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護高齢課と連絡を行い介護認定更新手続きや空室状況を提供連絡している。	管理者は日頃から市に直接出向いたり、電話等で担当者に事業所の運営状況や空き状況を報告するほか、介護保険制度改正の説明を受けたり、ケアサービスの課題について相談を行い、日頃から協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の対象者はおりません。入居者様の行動を理解した上でケアをおこなっている。	身体拘束は行わないことを運営規定に明記し、入居時に利用者や家族等に説明するとともに、全職員は身体拘束の内容とその弊害を理解し、日常の支援の中で身体拘束の状態になっていないか、適切に支援が行われているかを月1回のミーティング時などに確認をしながら、身体拘束をしないケアに努めている。 玄関は日中は施錠せず利用者が自由に行き来している。 やむを得ず身体拘束を行うことはなかったため「同意書」等の書類を整備するまでには至っていない。	緊急時やむを得ず身体拘束が必要になった場合に備え、「同意書」や「経過観察記録」等の書類を整備しておくことを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員同士で虐待行為がないか日々確認話あっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	対応が必要な時に支援できる体制が万全ではない。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明をし、その上疑問等を確認し理解・納得をいただいている。	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時にお話をお伺いし意見要望を聞いている。	職員は利用者との日々の会話から、家族等からは来訪時や電話連絡時のほか、玄関に意見箱を設置して意見や要望を聴くように努め、出た意見や要望は全職員で話し合って運営に反映している。 年1回の家族会では、事業所に対する感謝の言葉が多く聴かれている。 家族等から「利用者が医療機関を受診する際は職員も一緒に同行して欲しい」との要望を受け、同行することとしたほか、「冷蔵庫や電子レンジ、加湿器を居室に設置したい」との要望があり、家族等に持ち込んでもらっている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃からコミュニケーションをはかり意見交換をし運営に反映させている。	管理者は月1回のミーティングや日々の業務の中でも職員の意見や提案を聞く時間を設けている。 希望休や夜勤業務から日勤業務への変更、備品の購入など職員の要望に迅速に対応できるよう努めている。 職員から清掃場所の見直しや使い易い清掃道具の提案を受け、見直し等を行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフト作成時は一人一人の希望を確認し、また再度確認した上作成している。個々の良い所が生かされるような責任を持ったやりがいができるよう配慮し合い声掛け合いおこなっている。	/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会の案内の回覧をし見てもらっている。希望があった際はシフトの調整を行い参加できるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	常陸大宮市グループホーム連絡協議会に参加し勉強会とともに交流をはかっている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所者に本人の希望・不安を聞き本人の気持ちを受け止めるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	これまでの経緯や思い・不安また要望を聞き入れ気持ちを受け止めるようにしている。どんな小さいことでも相談して頂けるよう信頼関係につとめている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要なサービス利用に取り組み努力している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩であることをふまえ、よく話に耳を傾け、また話ができる聞ける状況を作るなど声掛けをしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入所者の様子、職員からの思いを伝え、本人を支えるための家族と同じような思いで支援している事を伝えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お墓参り、食事会、外泊など本人の気持ちを尊重し家族と連絡を取り進んでお出掛けをして頂く様にしている。	職員は利用者からは日々の会話から、家族等からは来訪時や電話で話を聴いて、利用者が築いてきた馴染みの人や場所を把握するよう努めている。 家族等や友人が来訪した際は、お茶を出して居心地よく過ごせるように支援している。 職員は利用者が行き慣れた店での買い物を支援するほか、外食や墓参り、親戚宅などに行きたい場合には家族等の協力を得ながら、利用者がこれまで大切にしてきた人や場所との関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	好きな趣味など行いながらお互いのことを褒めあい楽しい時間をすごしている。職員は声掛け、時には参加しながら支え合い褒めあっている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族を含めお話ししたり相談に応じている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	声掛けはまめに行い意思確認をしている。同時に顔の表情や仕草など微微細に観察し把握につとめている。	職員は日々の支援の中で把握した思いや意向をケース記録に記載して全職員で共有するとともに、会話の中から利用者の希望を汲み取り、その人らしく暮らせるよう支援している。 意思疎通が困難な利用者の中には、家族等と話聴いたり、日々の仕草や表情などから思いや意向を把握しているほか、意識的に声かけをしてコミュニケーションを図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時面談にていままでの生活状況を聞きこれまで送られてきた生活暮らしぶりの把握につとめている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の生活リズムを理解し、出来ることに注目し同時にその日の気分をみて理解し把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の気持ち思い意見を聞き計画作成担当者が介護計画を作成している。現在、見直しの記録を残すまでにはいたってない。	計画作成担当者が利用者や家族等の意向と医療関係者や職員の意見を踏まえて介護計画を作成している。 モニタリングを実施し、計画を見直すとともに、利用者の心身の状態像に変化が生じた場合には、随時現状に即した介護計画を見直し、利用者や家族等の確認を得ている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日々のくらしの様子や本人の言葉等気付いたことを記録し職員全員が把握し活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じて通院などの支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	安心して地域で暮らせるよう、地域の皆様はじめ区長、消防機関、市役所など連携をとり支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ病院へ家族が行っているが、不可能の場合は職員がいつている。受診後は通院記録に記載し職員が把握できるようにしている。	入居前からのかかりつけ医に受診をしており、家族等の付き添いを基本としているが、家族等の付き添いが困難な場合には、職員が通院の支援をしている。 家族等が付き添う際には、日々の状況を話したり、記入した紙面を渡しており、受診結果は申し送りノートに記録して全職員で共有している。 職員が付き添った際には、家族等にその日のうちに電話で報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員はおりませんが、状況に応じて対応しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	契約時、個人情報の同意書を頂いており、入院時にはサマリ等情報を提供ができ、緊急時に対応できるようつとめている。必ず職員同行のうえ病院、医師、担当看護師等と連絡できるよう手配をする。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期の対応は出来ない旨、本人、家族等には説明し理解を得ています。	事業所では看取り介護は行っておらず、利用者の状態に変化が生じた場合は主治医と連携を図り、救急医療あるいは緊急入院が受けられるように支援することを契約時に説明するとともに、「重度化・終末期・看取りケア対応指針」を作成し、書面にて同意を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルを作成し設置し職員には把握してもらっている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練はおこなっているが、地域の皆様とは出来ていなく課題であります。災害の発生に備えた備蓄はしてある。	年2回以上の避難訓練を行っているが、夜間想定訓練や地域住民の参加を得た避難訓練の実施には至っていない。 米や飲料水、缶詰のほかに簡易トイレやウェットティッシュなどをリストを作成して備蓄しているが、消費期限を記載するには至っていない。	年2回以上の避難訓練のうち1回は夜間想定訓練を実施することを期待する。 職員だけの避難誘導の限界を踏まえ、地域住民との協力体制を早期に構築することを期待する。 備蓄品リストに消費期限を記載することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉賭けに気を付けている。	日ごろから一人ひとりの人格を尊重し、丁寧でわかり易い言葉かけや対応を心がけている。 トイレ誘導時には、周囲にわからないようさりげなく声をかけ、プライバシーに配慮した対応を行なっている。 個人情報に関する書類は、事務室の鍵のかかるロッカーに保管し、情報の漏洩に留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人に決定をゆだね意思表示が上手くできないかたでも表情や動きなどから希望を把握するようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースに合わせて対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服等本人の希望で選んでもらっている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の能力に応じて無理のないよう食事の準備や後片付けを一緒に行っている。	食材は宅配業者を利用し、事業所で調理している。 地域住民からのお裾分けを食材に加えたり、そばの苦手な利用者にはご飯を提供するなど、希望にそったものが食べられるように支援している。 利用者はできる範囲でテーブル拭きや挨拶、下膳、洗い物などを担っている。 職員は利用者と同じメニューを一緒に食べ、話をしながら和やかな雰囲気ですぐ食事ができるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分量の摂取量を毎日記録し職員間で情報を提供している。	/	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨き、入れ歯のお手入れ等一緒におこなっている。	/	
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日常の様子を観察し声掛けをし誘導している。	職員は利用者一人ひとりの排泄サインや、排泄チェック表を活用して排泄パターンを把握するとともに、本人に合わせたトイレ誘導や声かけをして、利用者になるべくおむつにならないよう、排泄の自立に向けた支援を行っている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	記録表に記入し把握し便秘を改善するよう水分補給や適度な運動・マッサージ等をおこなっている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日をきめ入浴している。但し利用者の都合で出来ない場合はその都度対応している。また季節感のあるもの、色や香りを楽しめるよう入浴剤をいれている。	週2回午前入浴を基本とし、菖蒲湯や柚子湯、入浴剤を使用して入浴が楽しみなものになるよう工夫している。 入浴を拒む利用者には声かけや誘導のタイミング、職員を替えて無理なく入浴ができるように工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活のリズムを大切に、体調にあわせて好きな時に休めるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋をファイリングし職員誰もが把握できるようになっている。また、きちんと服用してあるか確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意なことを把握し、お願いをして出来ることを支援しながら楽しくやっている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣へのお散歩やドライブをしている。特に目で見て感動できるお花系は好まれている。	天気の良い日には、利用者と職員で事業所周辺を散歩して五感を刺激したり、四季の移り変わりを肌で感じられるように支援している。 年間の外出計画を立てて、古徳沼や花見のほか、大洗の海岸通りをドライブと外食を兼ねて出かけるなど、季節に合わせて様々な場所に出かけている。 家族等の協力を得て、利用者の希望する馴染みの店での外食や墓参りなどに出かけられるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設側で個々の金銭を預かり金として保管管理している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はいつでもかけられるようにしプライバシーを配慮し自室にて使用している。はがきお手紙は自由に書いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	月行事にあった飾り付けや共同制作での作品等を掲示し、またテレビの音量は不快にならないよう配慮している。温度計も各部屋に完備し温度差等に気をつけている。	食堂兼居間からテラスが広がり、採光も良く開放感が感じられる。 テーブルには季節の花が活けてあり、壁には利用者と職員が制作した折り紙が飾られ、ゆっくり寛げるように配慮されている。 廊下やトイレに手摺が設置されており、トイレには脱ぎ着の際に頭部が壁に直接当たらないよう手作りのクッションを貼り、安心して排泄ができるように工夫をしている。 浴室は個人浴槽で、シャワーチェアや手摺が備えられている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人で過ごしたり、お話を出来るスペースを提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時にそれまで使用していた身の回り品を持参してもらっています。また、写真・小物・手芸作品等貼っていただき明るいお部屋になるよう工夫しております。	エアコンやベッド、クローゼットが備え付けられている。 使い慣れた布団や時計などの身の回り品のほか、テレビや冷蔵庫などの電化製品も持ち込んでもらっている。 小説本や家族写真、生花を飾ったりと一人ひとりの生活スタイルに合わせて居心地良く暮らせるように工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入り口に名札を設け、本人のわかりやすい物など利用者の意見や状況に応じて対応している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている ○ 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム喜楽

作成日 平成27年11月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策	夜間想定年1回	夜勤者の協力シフトの考慮	28年度
2	13	職員を育てる取り組み	日々	個々理解をし感謝する	28年度
3	48	役割・楽しみごとの支援	毎月	イベント等を取り入れる	28年度
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。